

1 八幡ジャンクション工事

新名神高速道路と第二京阪道路とが接続する八幡ジャンクション工事では、盛土造成や橋梁工事を進めています。橋脚、橋台は概ね完成し、現在、上部工の架設を行っています。



上部工は、コンクリート桁の施工が完了し、鋼橋についても桁の架設が完了し、床板や壁高欄の工事を進めています。土工工事も大型重機を用いて盛土造成を進めています。

2 京田辺高架橋工事

木津川橋から八幡ジャンクションへつながる京田辺高架橋(全長約1590m)を建設しています。橋台、橋脚は全105基が完成し、上部工工事及び高架下整備を行っています。



上部工は、西側を大型移動支保工、東側では固定支保工によるコンクリート桁の施工を行っています。約8割の架設を完了し、壁高欄の施工も順次進めています。

3 木津川橋工事

木津川を渡る木津川橋の建設をしています。河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間で実施しており、現在第四期目の河川内工事を行っています。



橋脚については、全16基のうち14基が完成しており、残る橋脚を施工していきます。上部工も順次架設を行っており、左岸側は3径間、右岸側は1径間の架設が完了しています。

4 城陽ジャンクション工事

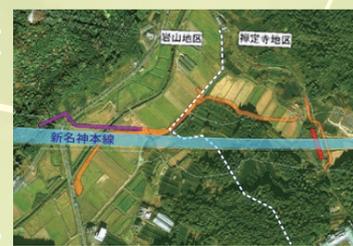
新名神高速道路と京奈道路とが接続する城陽ジャンクション工事では、橋脚橋台が概ね完成し、現在、上部工の架設や盛土造成を行っています。上部工は、木津川側からコンクリート桁を施工して



おり、約7割の架設が完了。また鋼桁は、京奈道路夜間通行止め架設などを行い、約9割が完了しています。土工事は、八幡ジャンクションからの掘削土を運搬して、盛土造成を行っています。

5 岩山工事

平成35年度開通区間の新名神高速道路(大津~城陽間)のうち、本工事は京都府域において最初の工事となります。工事内容は、延長約64mのボックスカルバートをはじめ、後続の工事でも使用する仮設構造物(工事用道路約760m及び工事用仮橋約220m)を構築します。現在は、工事の本格稼働に向け、準備工を行っています。関係機関及び、地域の皆様のご協力を頂きながら、安全第一で工事を進めてまいります。



★35年度開通区間工事始動!

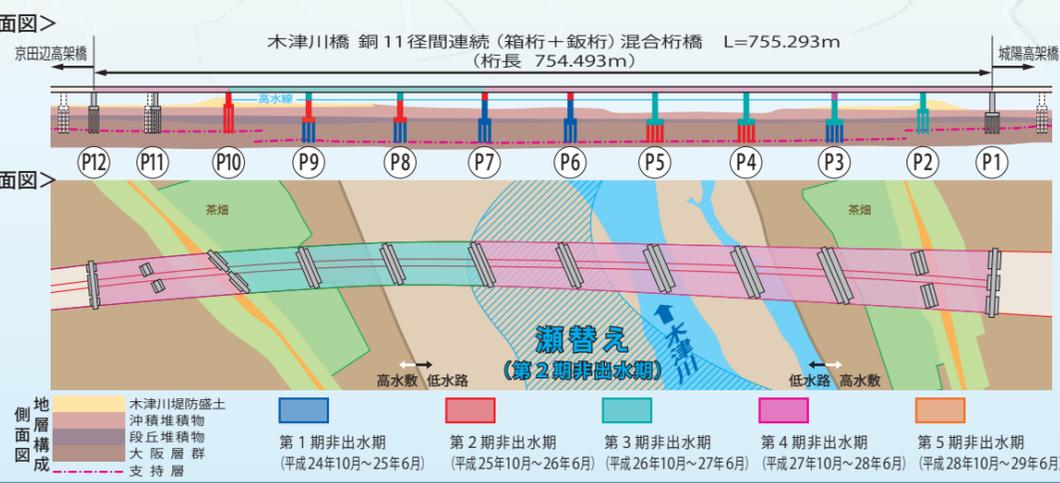


『高速道路ができるまで...木津川橋下部工編』

木津川橋は一級河川淀川水系木津川(川幅約600m)を横断する全長755mの橋梁です。河川区域内の工事は、台風や雨量が多い時期を避けた非出水期(10月中旬~翌6月中旬)に行います。平成24年から工事を開始しており、現在、第4期目の工事を行っています。また、河川内では、環境への影響などを考慮し検討を行った結果、「瀬替え施工」による河川の切替えを行いながらの工事を行っています。現在、河川内の橋梁下部工は完成し、上部工の架設を行っています。

『瀬替工』工程

第1第2非出水期に、現況流域部を浚渫し、P3・P6~P9を先行施工する。第2第3非出水期は、通水断面を施工済橋脚P6~P7部分に瀬替えを行い、P4・P5の施工を行う。



『橋脚工』施工ステップ図

瀬替え前 (平成25年11月)

- 鋼管ソイルセメント杭打設
- 鋼矢板打設
- 薬液注入
- 掘削、土留支保設置
- 躯体構築
- 土留支保撤去、埋戻完了

瀬替え後 (平成27年5月)

※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。